

東北地方交通審議会 観光戦略部会 中間報告 【概要版】

～東北地方における観光振興のため緊急に取り組むべき施策に関する提言～

～ 目次 ～

1. 東北地方における観光振興の意義	1
2. 東北地方の観光の現状と課題	2
3. 東北地方の観光振興の方向性	5
4. 東北地方の観光振興戦略策定に向けた考え方	6
5. 緊急に取り組むべき施策に関する提言	7
(1) 東北6県が一体となった強力なインバウンド・イベントの実施	
(2) 旅行商品造成促進のための体制の整備	
(3) 東北の魅力を印象付ける「東北ブランド」の確立に向けた検討作業の開始	
(4) 地域の個性を活かした観光地・地域づくりのモデル事業の実施	
(5) 二次交通の一層の充実や旅行コスト低廉化による利便性の向上	
(6) スキー場の再活性化による冬季の観光振興	
(7) 統一的パンフレットやインターネットによる情報提供の充実	
(8) 東北6県観光振興戦略構築のためのマーケティングの実施	
委員名簿	10
開催経緯	11

1. 東北地方における観光振興の意義

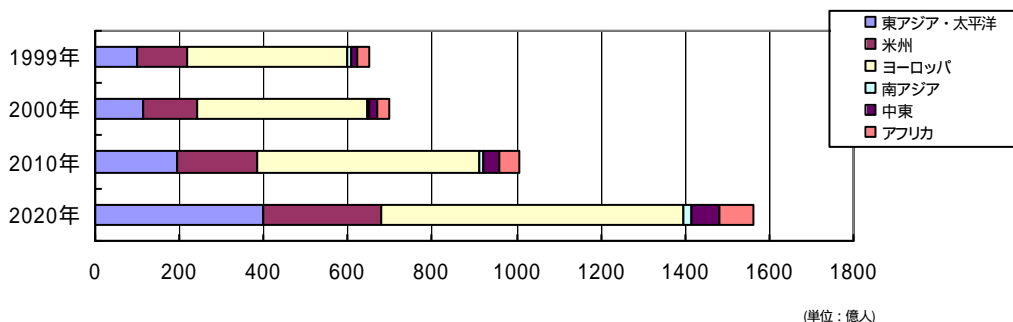
観光は、高い経済効果、国際的な相互理解の深化や文化的魅力、生活の豊かさの向上等の様々な意義を有し、政府も観光施策の充実を図っているところ。

東北地方において観光は、総生産額の5.6%を占め、既に主要産業として位置付けられ、さらに豊富な観光資源の活用により一層の拡大が期待できる。

また、東北地方の個性ある文化等の地域の魅力を活かした観光交流の拡大は、東北の地域力を高めるだけでなく、内外の人々の生活の向上に資するもの。

こうした東北地方の観光振興の意義を観光に携わる全ての人々が共有すべき。

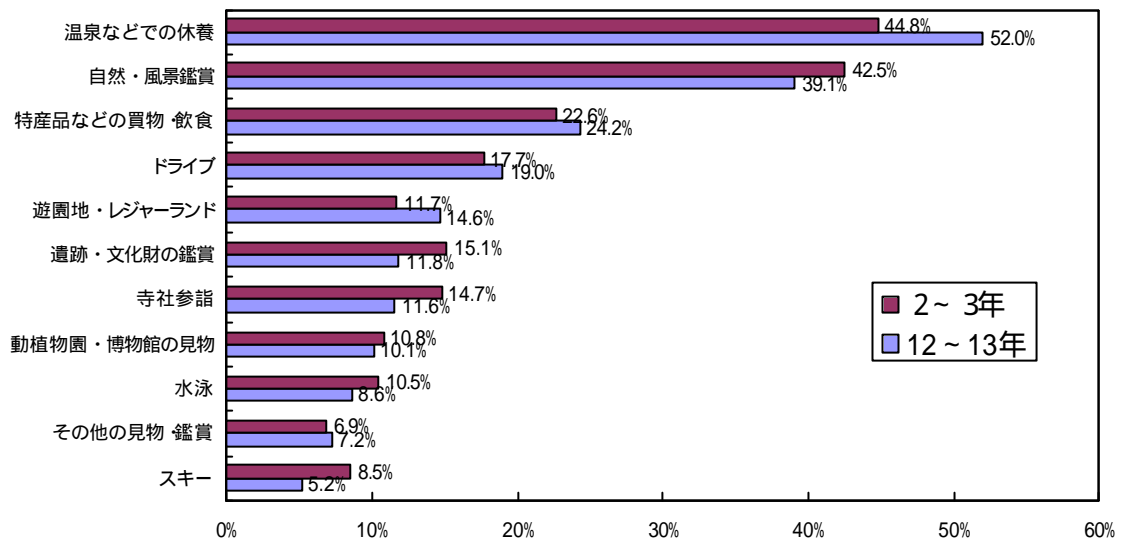
世界の観光需要推計
～東アジア等を中心に増大が見込まれる国際観光需要～



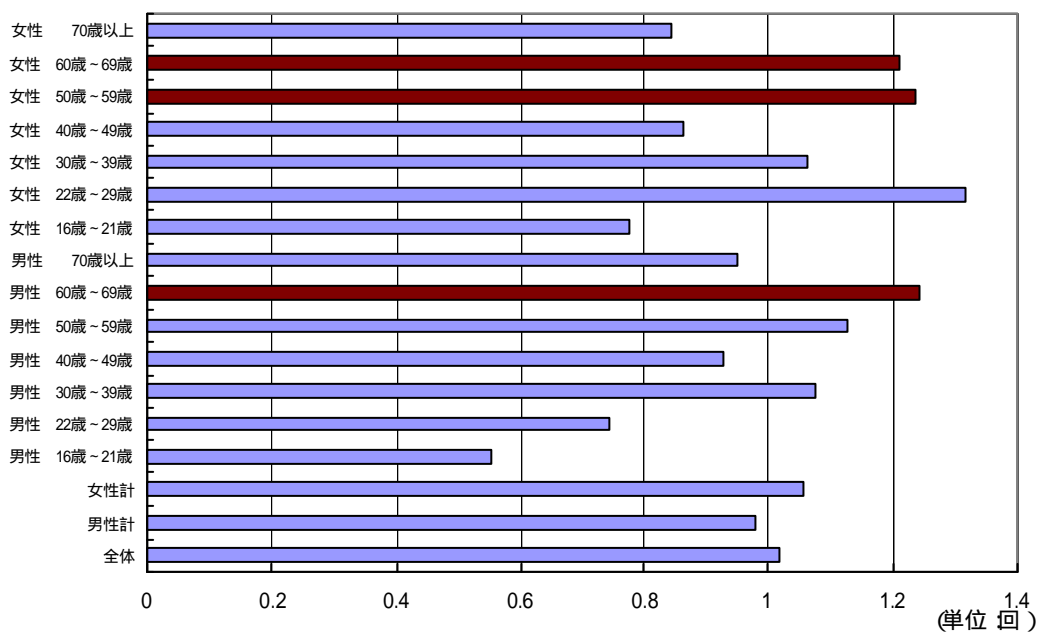
2. 東北地方の観光の現状と課題

観光の一般動向について、国内観光に関しては、小グループ化、中高年齢層の需要の増大などの変化が続いている。

宿泊観光旅行の目的地での行動
～高まる温泉人気、スキーは減退～

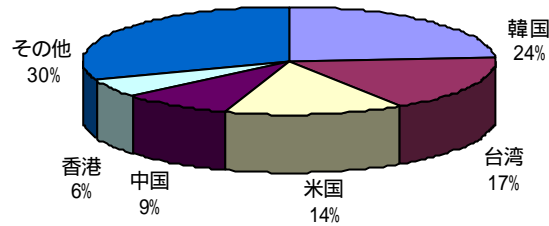


平均旅行回数
～旅行回数の多いのは、女性、中高年齢層～



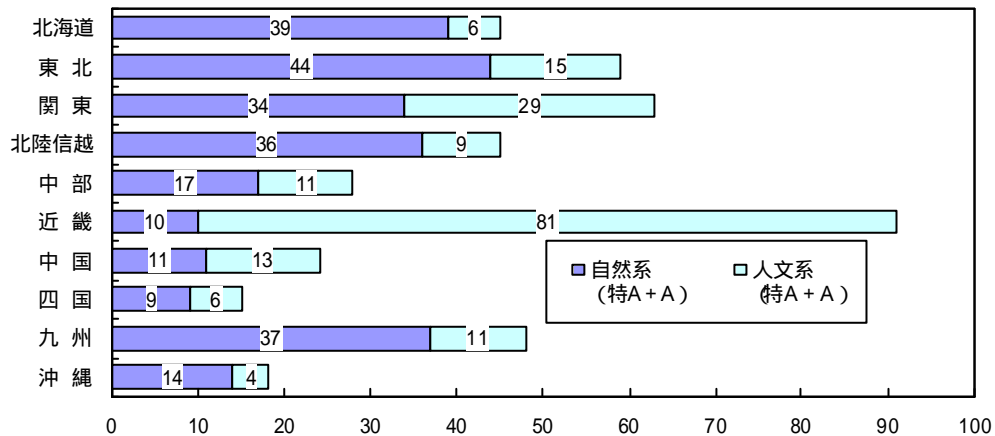
また、訪日外国人観光旅客については、韓国、台湾、米国、中国、香港の5ヶ国・地域で全体の7割を占める。

州別、国・地域別訪日外国人旅行者数(平成14年)
 ~韓国・台湾・米国・中国・香港の5カ国・地域で全体の7割を占める~



東北地方の観光資源の状況について、自然系を中心とした「観光資源」、「温泉」、個性ある「まつり」、「雪」などの魅力が豊富に存在している。交通アクセスも東北新幹線の延伸等、整備が進んできている。

評価観光資源数
 ~自然系を中心に観光資源に恵まれる東北~



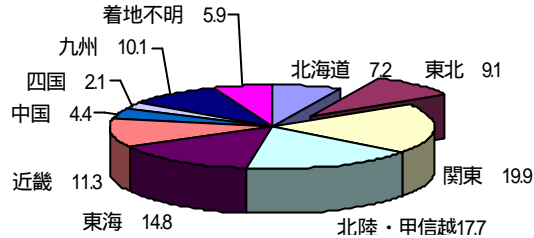
【行ってみたい夏祭りベスト10】

~東北の夏祭りは高い人気~

第1位 青森ねぶた祭 (青森県)	第6位 よさこい祭り (高知県)
第2位 仙台七夕まつり (宮城県)	第7位 秋田竿燈まつり (秋田県)
第3位 阿波おどり (徳島県)	第8位 群上おどり (岐阜県)
第4位 弘前ねぶたまつり (青森県)	第9位 天神祭 (大阪府)
第5位 エイサー (沖縄県)	第10位 山形花笠まつり (山形県)

東北地方への観光客入り込み状況について、国内宿泊観光旅行の訪問率は全国の約9%であるが、西日本からの訪問者は少ない。

着地別旅行割合
～宿泊観光旅行者のうち東北を訪れる比率は全国の9.1%～



旅行者のブロック間流動（発地ベース。東北着の割合・順位（9ブロック中）

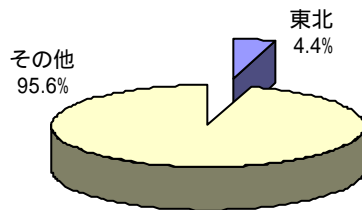
～西日本発の宿泊旅行者の目的地として東北は最下位～

北海道発	東北発	関東発	北陸・甲信越発	東海発	近畿発	中国発	四国発	九州発
2.4%	65.5%	9.6%	7.1%	0.9%	2.2%	0.7%	0.0%	1.2%
(3位)	(1位)	(4位)	(4位)	(9位)	(9位)	(9位)	(9位)	(7位)

北海道、四国と同率の最下位

また、東北を訪れる外国人旅行者数は増加しているものの、訪問率は全国の約4%と低水準。

訪日外客数に占める東北を訪れる外客数
～東北を訪れる外客数は訪日外客数の4.4%～

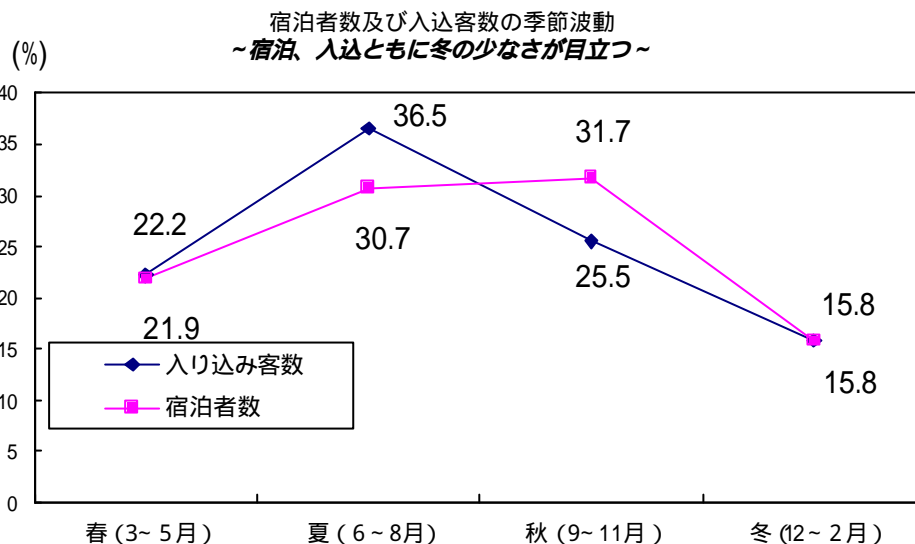


【東北地方を訪れる外国人旅行者数】

	訪日外客数 (全国ベース)	JNTO 調査による推計	東北主要空港からの出国者数	東北6県を訪問する外客数	訪問率 (全国比)
平成10年	410.6万人	11.9万人	2.7万人	14.6万人	3.6%
平成14年	524.1万人	15.7万人	7.1万人	22.8万人	4.4%

JNTO 調査（国内主要空港から各地方への訪問率を調査）による東北地方への訪問率に訪日外客数（全国ベース）を乗じて算出

また、季節波動が大きく、特に冬が少ない。



東北地方の観光の課題は、外国人や西日本からの旅行者が少ないこと、冬の観光客が少ないこと、などの問題点を克服すること。

そのため、問題の所在を明確に認識するとともに、東北の個性を強力に打ち出した観光振興策を実施する必要があり、そのための指針としての「観光戦略」を構築すべき。

3. 東北地方の観光振興の方向性

- 「スピード」 : 観光をめぐるグローバルな競争が激化する中で、他に先んじた迅速な取組みが必要。
- 「連携」 : 観光振興を効果的・効率的に進めるため、東北6県の官民が一体となった取組みが必要。
- 「オリジナリティ」: 他国・他地域でなく「東北」が選ばれるには、「東北ならではの」のオリジナルな魅力の育成とPRが必要。
- 「地域づくり」 : 地域全体として観光客を迎える観光空間・交流空間としての「地域づくり」が必要。

4. 東北地方の観光振興戦略策定に向けた考え方

(1) 観光地としての東北の特性を活かした魅力の向上

東北ならではの夏祭りなどの東北地方のメリットを認識し、これらを活かした独自の魅力をもつ観光地づくり。

家族旅行・小グループ旅行の増大などのニーズの変化を踏まえた、観光地・地域づくりと情報発信の充実。

など

(2) 誘客活動の強化

外国人観光客の増加のため、ビジット・ジャパン・キャンペーンを活用した東北6県一体となった大規模イベントの開催、精力的な商談会の実施による旅行商品の造成、「東北ブランド」の確立 など。

国内観光の誘致活動の充実策として、対象地域の状況に応じた連携強化や「東北ブランド」の展開、マスコミ・メディアの活用、「口コミ情報」やリピーター需要の重視、個人旅行促進のためのきめ細かな情報提供、修学旅行の誘致促進 など。

(3) 交通アクセスの改善

航空路線ネットワークの充実やゲートウェイ空港の広域利用促進など、広域アクセス基盤整備効果を生かした広域交通アクセスの改善。

公共交通機関相互の接続の改善等による域内アクセスの改善。

魅力ある観光資源と広域交通拠点を結ぶ、便利で、安く、使いやすい二次交通の充実。

など

【新たな二次交通の整備等の例】

名称	区間・地域	概要	備考
おいらせ号	八戸～十和田湖	新幹線延伸に伴い開業した、八戸～十和田湖間の路線バス。	利用者数約 8,400 人/月 (15 年 10 月)
えんぶり号	八戸駅～休屋(十和田湖)	八戸～休屋を結ぶ乗合タクシー。大人 1 名 2,500 円と低廉な価格。	利用者数約 200 人/月 (15 年 10 月)
あきたエアポートライナー	秋田空港～角館、田沢湖、乳頭温泉、男鹿温泉、玉川温泉	秋田空港と主要観光地を直接結ぶ乗合タクシー。平成 14 年 10 月より秋田空港～角館～田沢湖～乳頭温泉郷間運行開始。15 年には男鹿半島、玉川温泉開設。さらに拡大の予定。	利用者数約 800 人 (15 年 8 月) 廃植物油を燃料として使用。環境対策としても注目。
会津ぐるっとカード	会津地区 13 市町村	会津地区の鉄道・バスフリー乗車に、観光施設の割引等の特典を付与。	販売枚数約 1000 枚/月 (15 年 10 月)

(4) その他

効率的・効果的な観光振興のための、的確なマーケティングの実施。
冬の観光振興策強化による、旅行時期の平準化。
コンベンション、イベントの活用による東北観光の浸透。

(5) 推進体制

連携施策の実施・取りまとめの主体として、広域的な観光推進組織の積極的な活用。

各主体の効果的な連携のための検討、調整を行う体制の整備と、その中で基本指針・年次計画の策定やフォローアップの実施。

5. 緊急に取り組むべき施策に関する提言

観光を巡る競争の激化を踏まえ、最終答申（観光戦略）の策定に先立ち、緊急に実施すべき施策は次のとおり。

(1) 東北6県が一体となった強力なインバウンド・イベントの実施

国際観光を巡るグローバルな競争が激化する中、ビジット・ジャパン・キャンペーンを活用して、「東北」の知名度向上、イメージの浸透を図ることは、緊急かつ最重要の課題。

そのため、他の地方ブロックでも例をみない、5大重点市場（韓、米、中、香、台）全てを対象とし、ブロック内全県が連携する「YOKOSO! JAPAN THE 祭り東北」（16年2月開催）に東北6県の官民の総力を挙げて取り組むべき。

さらに、16年度には、こうした6県が連携した強力なインバウンド・イベントの充実に向けて、取り組みを強化すべきである。

(2) 旅行商品造成促進のための体制の整備

旅行エージェントによる東北旅行商品の造成を支援するため、エージェントからの求めに応じて、東北6県の観光資源や宿泊施設、交通機関に関する情報提供や周遊ルートの提案、関係事業者等への仲介を一元的に行う、いわば東北観光の総合窓口を設け、その活用を図るべきである。

(3) 東北の魅力を印象付ける「東北ブランド」の確立に向けた検討作業の開始
より強力なイメージ戦略として、海外や西日本など東北のイメージが未だ希薄と考えられる地域を中心に、従来の県単位・複数県単位の取組みとの整合性を取りつつ、「東北」という単位でのブランド化を図り、これを統一的なキャッチコピーやロゴマークとともに発信することが有効であると考えられることから、「東北ブランド」の確立に向けた検討作業を開始すべきである。

(4) 地域の個性を活かした観光地・地域づくりのモデル事業の実施

地域特性を踏まえた観光戦略に基づき、地域の関係者が一丸となって多様な観光資源を活用し、ホスピタリティーを持って観光客を迎え入れることのできる「観光交流空間づくり」を東北地方で促進すべきである。

そのため、15年度より新設された支援制度の対象（モデル地域）として選定された、秋田・岩手地域及びあいづ地域における事業を推進するとともに、モデル地域の拡大を図り、こうした取組みをより広く実施すべきである。

(5) 二次交通の一層の充実や旅行コスト低廉化による利便性の向上

二次交通の充実や旅行コスト低廉化による利便性向上を図るため、秋田空港と周辺主要観光地を結ぶ「あきたエアポートライナー」の拡充や、15年度に会津で導入された観光施設等の割引特典つきの低廉なフリー乗車券の仙台、八戸での導入、青森県で実施されている「ウエルカムカード」の北東北3県への拡大など既に検討進められているものの早期実現を図るとともに、こうした取組みの更なる拡大のための各地で支援を進めるべきである。

(6) スキー場の再活性化による冬季の観光振興

冬の観光客の少なさが東北地方の観光の大きな問題点であるが、一方で、近年これまで東北の冬の観光を支えてきたスキー客の減少が著しく、さらに深刻になりつつある。

そのため、スキー場の再活性化は東北観光の緊急の課題であり、スキー客の減少要因の分析・的確なマーケティングを行い、外国人スキー客の誘致を含むスキー場再活性化の処方箋の提示・実施を進めていくべきである。

(7) 統一パンフレットやインターネットによる情報提供の充実

東北全体への旅行需要の喚起のため、東北 6 県の統一パンフレットを作成し、活用すべきである。

また、インターネットや携帯端末を積極的に活用し、きめ細やかな情報提供や関連情報へのアクセスを促すことが重要であり、そのため、東北観光データベースの構築、北東北 3 県の二次交通情報提供システム（東北ネクストゴーゴーNET）の南東北への拡大、主要なホームページと関連ページのリンクの充実等により、旅行者の求める情報の入手が容易となるようなシステム形成を図るべきである。

(8) 東北 6 県観光振興戦略構築のためのマーケティングの実施

東北 6 県の持つポテンシャルを最大限発揮し、効果的・効率的に観光振興を進めるための指針としての「観光戦略」の構築のため、地域等により様々な観光ニーズ等のデータの蓄積・分析、適切なマーケティングの実施が必要である。

そのため、ビジット・ジャパン・キャンペーンの効果分析や参加した海外キーパーソンの意見を取りまとめの上共有化することにより、これまで蓄積の乏しかった外国人観光客に関するデータ収集を進め、今後の議論に反映させるべきである。

東北地方交通審議会・観光戦略部会委員名簿

【敬称略】

役 職	氏 名	所 属
委 員	恩地 宏	宮城大学事業構想学部・教授
臨時委員	清水 慎一	社団法人日本観光協会・東北支部長 東日本旅客鉄道株式会社仙台支社長
臨時委員	青木 茂之	社団法人日本ホテル協会・前東北支部長
臨時委員	野崎 満	東北バス連合会・会長
専門委員	遠藤 芳雄	社団法人東北経済連合会・常務理事
専門委員	佐藤 潤	社団法人国際観光旅館連盟・東北支部長
専門委員	志賀 秀一	株式会社東北地域環境研究室・代表
専門委員	津嶋 秋夫	東北六県商工会議所連合会・常任幹事
専門委員	中谷 行雄	仙台エアラインズアソシエーション・会長
専門委員	山川 直人	社団法人日本旅行業協会・東北支部長
専門委員	竹森 茂	青森県・文化観光部長
専門委員	小原 富彦	岩手県・商工労働観光部長
専門委員	遠藤 正明	宮城県・産業経済部長
専門委員	吉野 恭司	秋田県・産業経済労働部長
専門委員	野村 一芳	山形県・商工労働観光部長
専門委員	丹野 一男	福島県・商工労働部長
専門委員	佐藤正一郎	仙台市・経済局長

： 部会長 ： 部会長代行

東北地方審議会 観光戦略部会 開催経緯

- 15年3月26日 第6回東北地方交通審議会
- ・会長選出、会長代理指名
 - ・諮問（「東北地方における望ましい交通のあり方及び観光振興戦略について」）
 - ・今後の審議の進め方について

- 15年7月11日 第1回観光戦略部会
- ・部会長選出、部会長代行指名
 - ・今後の審議の進め方について

- 15年9月 8日 第2回観光戦略部会
- ・観光戦略部会中間報告（素案）について

- 16年1月29日 第3回観光戦略部会
- ・観光戦略部会中間報告（案）について